

ハンディ20が怒濤のパーオン! 芝を取らないダウンブロー

平成28年12月21日発行
(10月21日発売・毎月21日発行)
昭和37年2月15日第3種郵便物
第56巻第12号



まだ「2本」なの?
ウェッジ「3本派」が
急増中です!

飛ばない! 当たらない!

ボールを見過ぎて
「顔軸」になつて
いませんか?

「5番ウッド」だって
飛ばすが勝ちッ!
「16モデル」を打ち比べ

取り外しOK 保存版

プロは
まもなく300ヤード
だというのに…

アマチュアの
飛距離が
伸びない理由

タイトリスト
917vs915

マシーンテストの結果
すべてお見せします!

特別付録
「正統派」がモテる!
秋冬ファッショントピックBOOK

ロストボール問屋が
教えてくれた!
今本当に売れている
ボールランキング

GOLF
EST

自分のゴルフを貫く!
「強いメンタル」の鍛え方

GOLF
NEW
BASIC

12
2016

私の打ちとは
ちょっと違う
怒濤のパーオン!

芝を取らない
ダウンブロー!

やさしいはずの
ユーティリティ
どうして上手く
打てないの?

みんなの
ゴルフダイジェスト
みんなのゴルフダイジェスト 検索

Adam Scott

超ボーレル初速アップが生み出す DT-112 Driver

超飛距離

名器『CT-112』を凌ぐ
“飛びチカラ”を証明。

フォーティーン 『DT-112』ドライバー



小池丈晴プロ

こいけたけはる

日本大学ゴルフ部から
ツアープロへ。ドラコン
でも活躍し、現在は
「小達敏昭銀座ゴル
フクリニック」でレッスンを行なう

ヘッド

これまで以上の高い
ボール初速を生み出す

硬度と延びにすぐれた特性を持つ
新素材チタン「LD433+チタン」を
用いた新設計マルチ薄肉設計フレ
ームと、最適化された重量配分
設計のボディが、インパクト時のエ
ネルギー伝達効率を高め、高反発
力はルールぎりぎりながら、それ
以上の速いボール初速を実現する



シャフト

長さを感じさせない
振りやすさを追求

標準装着のMD-350ZD
V2カーボンシャフトは
R&A測定法では47.75
インチとなるルールぎり
ぎりの長尺スペックを持
つ。長尺専用に設計開
発し、長さを感じさせ
ないスムーズなしなり戻りと振りやすさで
ヘッドスピードを高める



ツアーリスト様のTSカーボンシャフト
はアスリートゴルファーがたいて
飛ばせるセミ長尺(受注生産/
45~46.25インチ対応可)

最適撃心設計

打ちたいところに
“飛び打点”を設定



飛びの凄さはもちろん。
長尺なのに
オートマチックに
打てるやしさがある



大ヒットした 前作と 打ち比べ

ボール初速が確実にアップ。
前作を上回る飛距離が
計測された!

試打をお願いしたのは小池丈晴プロ。
まず『CT-112』を打って「久しぶりに
打ったけど、さすが名器。飛ぶだけでも
方向性、弾道の安定性も素晴らしい」と評価。

続いて『DT-112』を打つ。

「同じように振っても自然とヘッドス

DT-112 ドライバー

○ヘッド/フェース: LD433+チタン、ボディ: 811チタン(精密铸造) ○ロフト角/9°、10.5° ○クラブ長さ/47インチ、46.5インチ ○シャフト/ MD-350ZD V2 カーボンシャフト (S/55g, SR/50g, R/45g)

○クラブ重さ/290g (46.5インチ・R)~301g (47インチ・S) ○価格/5万8000円+税 ※受注生産でTSカーボンシャフト有り (45~46.25インチ対応可)

問い合わせ/(株)フォーティーン TEL.027-387-8760 <http://www.fourteen.co.jp> フォーティーン 検索

	HS (m/s)	ボール初速 (m/s)	飛距離 (ヤード)
CT-112	50.1	74.5	276
DT-112	50.9	76.1	287

*ともに47インチ、ロフト9°で、それぞれ5打の平均値

ピードが速くなる印象です。ヘッドが
オートマチックに戻ってくれるので、
長いからといって特別なスウィングは不
要。振り遅れないし球のつかまりがいい
ので右へのミスも出にくく、ミスしたとき
の曲がりは極めて小さい。弾道も
『CT-112』より高めだし、長尺の難しさ
がなくてすごく打ちやすいですね。普
通から一般のアマチュアまで、幅広く使
えるドライバーです。

データを見てみよう。ヘッドスピード

が速くなるとの印象はズバリ、数値が証
明。また、注目すべきはそれ以上にボ
ール初速が速くなっていること。一般的に、
理想値としてボール初速が1m/s速くな
ると飛距離が約5ヤード伸びるといわれ
ている(HS45m/sの前後の場合)。

「ボール初速のアップは新開発ヘッドの
エネルギー伝達効率のよさによるもので
しょう。それにしてもあの『CT-112』を上
回る飛距離性能を身につけた『DT-112』
恐るべし。完璧さすら感じました」

GOLF
DIGEST
AD



ルールぎりぎりの
適合スペックながら、
それ以上の高初速を実現
高反発力、長さ、ヘッド体積。そ
れぞれのスペックをルールぎりぎり
とすることで圧倒的な飛び性能を誇
った『CT-112』ドライバーが
登場したのは5年前のこと。その完
成度は高く評価され、今でもこのド
ライバーを手放せないツアープロが
いるほどだ。

今回発売された『DT-112』
はその後継モデルとなる。ルールぎ
りぎりスペックはそのままに、ヘッ
ド素材と製法を進化させ、重量配分
を最適化し、そしてフォーティーン
ならではの「最適撃心設計」を取り
入れることによって、インパクト時
のエネルギー伝達効率を前作以上
に高めているのが特徴だ。それによ
り名器『CT-112』を上回るボ
ール初速が実現され、超飛距離ドラ
イバーと呼ぶにふさわしい、さらなる
飛距離を生み出すのだ。

『DT-112』
ドライバー
とは?

ルールぎりぎりの
適合スペックながら、
それ以上の高初速を実現

協力/鳩山カンパニークラブ 撮影/北川外志廣